



鹿島臨海工業地帯や地元企業など、多くの職場と連携できるのも神栖市の特色の一つ



中学生キャリアサミットで発表する神倉さん

さらに限られた時間で作り上げるための時間配分を考えました。見通す力を意識したことで自分自身が成長できたと思います」

### 神栖四中の先生からひとこと

新河恵里花先生(学年主任・キャリア教育担当)は、生徒たちの主体性を尊重しています。「一人ひとりが自分の役割を理解して取り組むことで、みんながやり遂げたという達成感を得ることが出来ます。また今回インタビューに答えた3人は、みんなの意見をまとめる経験をしています。自分の意見を押し通すのではなく、話すのが苦手な生徒の意見もしっかり拾い上げ、みんなで考えて思いを共有したところに生徒たちの成長を感じました」

生徒たちの言動を見た市民から「地域の将来に希望が持てました」という声をいただくことも多いとのこと。キャリア教育がしっかりと実を結びつつあるようです。

### 波崎第二中学校の取り組み

波崎第二中学校では特徴的な取り組みである「波二ゼミ」を中心に、意欲的にチャレンジを楽しむ2年生に話を聞きました。

身の人間力の表れであり、それを大切に育てていかなければならないと再認識しました」

また、地域の温かい協力について「学校を大切に思ってくださいる方が多く、本当にありがたいです」と感謝を述べていました。生徒たちは職場体験学習などを通して、地元の皆さんとふれあいながら地域愛を育んでいます。

### 中学生キャリアサミットで発信

各校の取り組みを発表する中学生キャリアサミットでも、生徒たちは多くを学んだようです。

神栖第四中学校の神倉倫乃さんは、中学生キャリアサミットの発表をするにあたり改めてキャリア教育を見つめ直しました。「学校生活の中で、



アルコールインクアート講座



ギター講座



グリーンバックを使った動画編集講座

### 波二ゼミ

波二ゼミは夏休みに開催され、勉強だけでなくキャリア教育の視点から芸術や趣味の講座も開いています。松下紗楽さんは2つの講座を受講しました。「新しいことにチャレンジしたい」と思い、アルコールインクアート講座とギター講座を選びました。どう広がって混ざり合うか想像がつかず、とても新鮮な体験ができて楽しかったです。ギター講座は、理科の先生と卒業生に一から指導してもらいました。どちらの講座も、難しさを実感することで芸術や音楽をこれまでと違った視点で見られるようになり、より一層興味が湧きました」

パソコンでゲームを自作するのが好きという村杉俊飛さんは、動画編



いつ、どんなときにキャリア教育が生かされているかを探しました。いろいろな学校行事やグループワークで4つの力が使われていると実感し、プレゼンテーションソフトを使って資料にまとめて発表しました。私自身、実行委員として体育祭をつくりあげるときに、やり遂げる力を意識しました。また、かかわる力を生かして全員で励まし合ってチャレンジすることができました」

波崎第二中学校の松下さんと村倉さんはキャリアサミットに参加し、他校の取り組みを聞いた中でたくさん気づきがあったといいます。発表者の村倉さんは学校の取り組みを紹介した後、「波二ゼミをもっと生

### 自分を見つめるキャリア・パスポート

キャリア教育がスタートしてから、市内の児童・生徒たちは毎年「キャリア・パスポート」を整理しています。これは、新しい学年が始まった時に今の自分を見つめ、勉強・学校生活・行事などの目標、将来の夢、取り組み内容などを記入するものです。毎年新しいシートが加わり、小学校から高校まで自分の成長の記録がどんどん増えていきます。

生徒たちからは「明確な目標ができた」「自分を見つめ直すきっかけになる」などの感想が寄せられました。先生からのコメントも丁寧に記入され、生徒たちにとって大切な存在になっているようです。

### 子どもたちと地域の未来へ

子どもたちの未来につながるキャ



キャリア教育担当の木村先生(波崎二中)



左から村杉さん、松下さん(波崎二中)

リア教育の取り組みが評価され、神栖市教育委員会は令和4年度に「キャリア教育に関する文部科学大臣表彰」を受賞しました。今後もさらなる充実に向けて、小中学校・高等学校間の情報交換や、キャリア☆フェス神栖など、幅広い取り組みを続けていきます。

キャリア教育は、児童生徒が学ぶことと自分の将来とのつながりを考えながら、自分らしく生きることができるようになることを目指しています。市内すべての小中学校のホームページに「キャリア教育推進プロジェクト」が掲載されていますので、「自分の母校ではどんなことをしているのかな?」「学校によってどう違うがあるのだろうか?」など、興味があればぜひのぞいてみてください。子どもたちの姿を通して、地域の未来が見えてくるかもしれません。